

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSビッグデータ・ストラテジー（グローバル株式）DC」は、このたび、第5期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第5期末（2024年3月11日）		第5期	
基準価額	20,630円	騰落率	36.6%
純資産総額	5,566百万円	分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付できる旨が定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

交付運用報告書

GSビッグデータ・ストラテジー （グローバル株式）DC

追加型投信／内外／株式

第5期（決算日2024年3月11日）

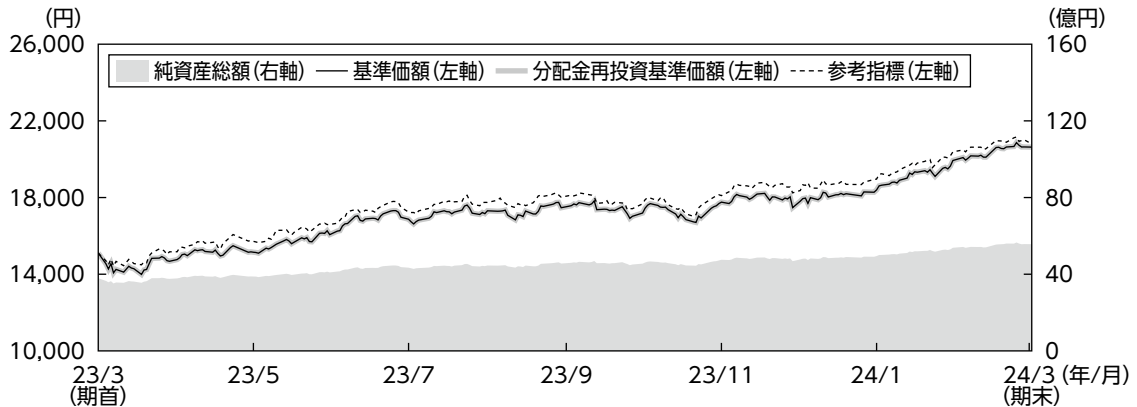
作成対象期間：2023年3月11日～2024年3月11日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先：03-4587-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2023年3月11日～2024年3月11日）



第5期首：15,105円

第5期末：20,630円

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+36.6%（分配金再投資ベース）

- （注1）参考指標は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。
- （注5）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

○本ファンドの基準価額は、期首の15,105円から5,525円上昇し、期末には20,630円となりました。

上昇要因

世界的な株式市場の上昇、銘柄選択における投資テーマがプラス寄与となったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。また、米ドルなどが円に対して上昇したことも基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

国別配分において日本、スウェーデンおよびオーストラリアでマイナス寄与になったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年3月11日～2024年3月11日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	139円 (96)	0.800% (0.552)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(38)	(0.221)	
(受託会社)	(5)	(0.028)	
その他費用 (保管費用)	6 (3)	0.037 (0.017)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	
(その他)	(3)	(0.017)	
合計	145	0.837	

期中の平均基準価額は17,336円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

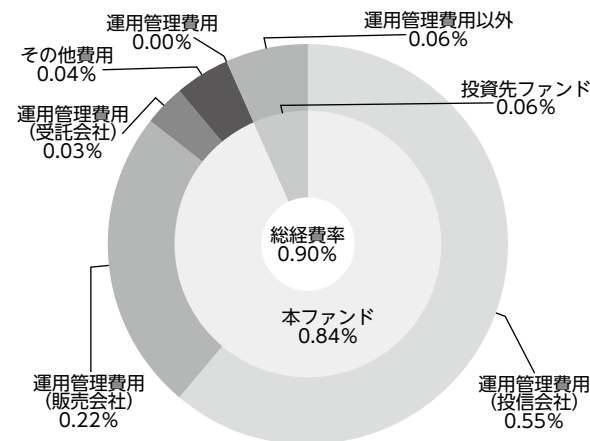
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.90%です。



総経費率 (①+②+③)	0.90%
①本ファンドの費用の比率	0.84%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

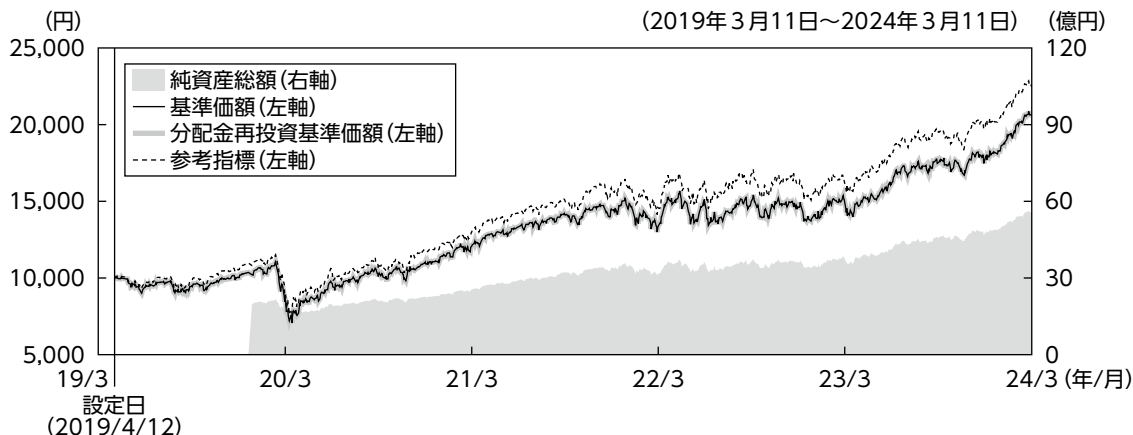
(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2019年4月12日）の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) 参考指標は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

最近5年間の年間騰落率

	2019/4/12 設定日	2020/3/10 決算日	2021/3/10 決算日	2022/3/10 決算日	2023/3/10 決算日	2024/3/11 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	8,455	12,042	13,285	15,105	20,630
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	－15.5%	42.4%	10.3%	13.7%	36.6%
参考指標騰落率	—	－13.1%	49.1%	12.6%	11.8%	37.7%
純資産総額（百万円）	2	1,674	2,541	3,145	3,790	5,566

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年3月10日の騰落率は設定当初との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) 参考指標は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■ 投資環境について

<世界株式市場>

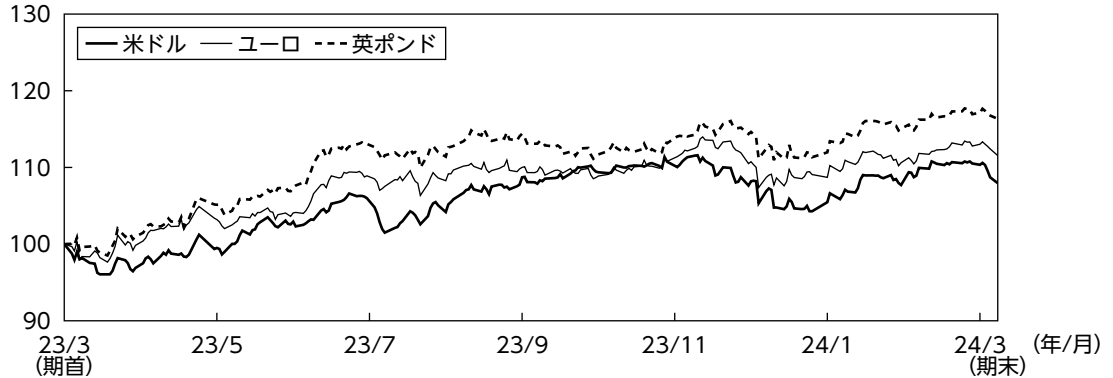
当期の世界株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。

期初は、2023年3月上旬に米国カリフォルニア州のシリコンバレー銀行およびニューヨーク州のシグネチャー銀行の2行が金融当局から破綻認定を受け世界株式市場は急速に調整色を強めました。この金融不安は欧州の大手商業銀行にも向かい、2022年を通じてアウトパフォームしていた銀行株が世界的に大きく調整しましたが、スイス金融当局主導でUBSがクレディ・スイスを救済合併すると発表したことでいったん不安感は後退し、世界株式市場は3月末にかけて月間のマイナスを概ね回復しました。4月になると、米国におけるインフレ鎮静化への期待や、米大手銀行や米大手テクノロジー企業の決算内容が概ね好調だったことを好材料に、世界株式市場は反発しました。5月以降はFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが決定され、追加利上げへの警戒感が高まったことや、中国の経済指標が市場予想を下回ったことなどが重しとなり、世界株式市場はレンジ圏で推移しました。6月になるとFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ見送りや米債務上限問題の決着などが支えとなり、世界株式市場は主にテクノロジー関連銘柄を中心に上昇しました。7月中旬には、米CPI（消費者物価指数）の伸び率が鈍化したことにより、利上げの停止が近づいているとの見方が強まったことで投資家心理が改善し世界株式市場は上昇しましたが、8月になると格付け機関フィッチによる米国債の格下げ、中国不動産大手の信用不安などが意識され、世界株式市場は下落しました。さらに、9月には米連邦議会において政府機関閉鎖の危険性が高まったことや、10月にはハマスとイスラエルの紛争勃発やそれに付随する原油価格の上昇、インフレ継続への警戒感、米金利上昇などが嫌気され、世界株式市場は下落しました。11月以降は、米CPIが市場予想を下回りFRBの追加利上げ観測が後退したことなどを背景に米国の国債利回りが低下傾向に転じ、世界株式市場は再上昇しました。2024年になると、米金融当局の発言や強い雇用統計を受けFRBによる利下げ観測が後退したことが世界株式市場の重しとなりました。しかし2月には米大手半導体企業が市場予想を上回る好決算を発表したことをきっかけに世界的に半導体関連銘柄が上昇したことにより、世界株式市場は期末まで上昇を続けました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、米ドルや英ポンド、ユーロなどは円に対して上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：一般社団法人投資信託協会

(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1 ヶ月は前期末の4.2%程度から5.3%程度まで上昇して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、日本を含む先進国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

・組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ* ¹	39.1%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* ²	13.9%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- * 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ I Oアキュムレーション・スナップ・シェアクラス
- * 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当期においては、国別配分効果、銘柄選択効果ともにプラス寄与となりました。国別配分では香港やスイスにおいてプラス寄与となりました。また、当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データなどをもとに、モメンタム（Momentum）・バリュー（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた数百もの評価基準（MVPモデル）に基づき、投資対象候補銘柄すべての投資魅力度を総合的に評価した上で、ポートフォリオの最適化を図っていますが、当期は、「モメンタム」、「バリュー」および「収益性」すべてがプラス寄与となりました。

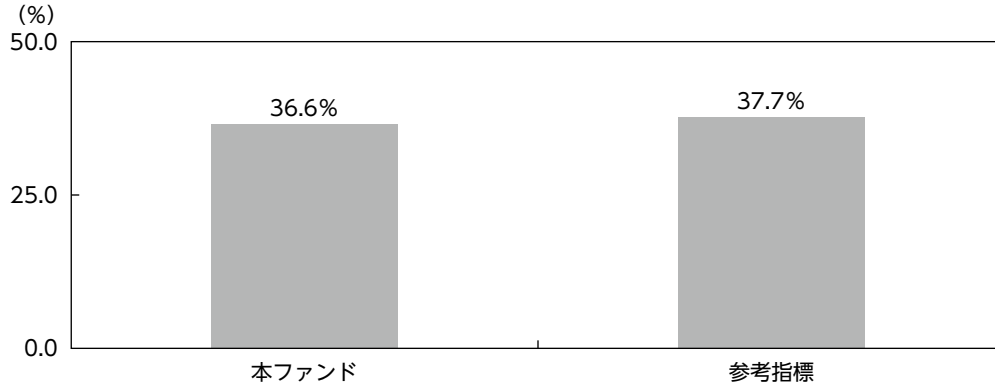
<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指標は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+36.6%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+37.7%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 5 期
	2023年3月11日～2024年3月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,630

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオを高位に組入れ、日本を含む先進国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

お知らせ

約款変更について

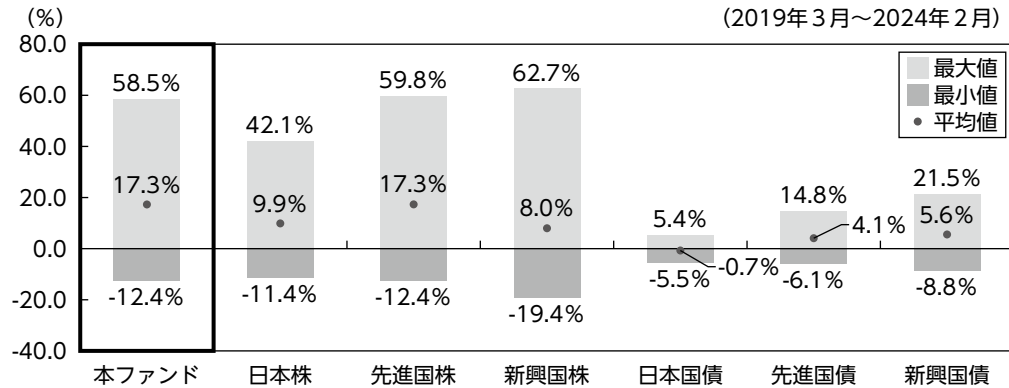
・指定投資信託証券における実質的なデリバティブ取引の利用目的を明確化しました。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として日本を含む先進国の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	日本を含む先進国の株式および株式関連証券
指定投資信託証券②	米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月10日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定しますが、長期的な信託財産の成長に資するため、収益分配金は少額に抑えることを基本方針とします。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年3月から2024年2月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2019年4月12日）から1年後の2020年4月以降のデータを表示しており、過去5年間のデータではありません。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・ 全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・ 代表的な資産クラスの騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2024年3月11日現在）

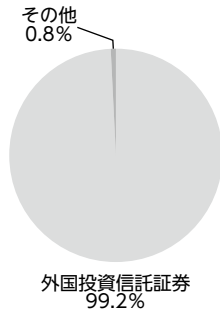
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

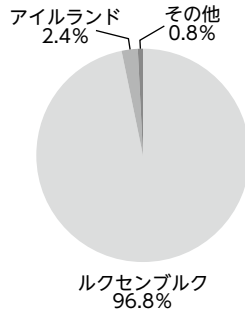
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ	96.8%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.4%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

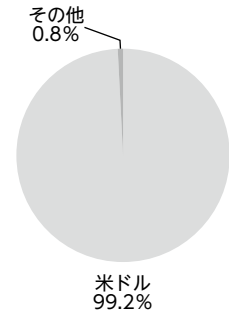
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

（注3）通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

項目	第5期末
	2024年3月11日
純資産総額	5,566,397,258円
受益権総口数	2,698,201,324口
1万口当たり基準価額	20,630円

（注）期首元本額は2,509,476,176円、当作成期間中において、追加設定元本額は599,231,411円、同解約元本額は410,506,263円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>（2023年5月31日現在）

* 2024年3月11日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について（2022年12月1日～2023年5月31日）



* IOアキュムレーション・スナップ・シェアクラスの純資産価格

○費用明細（2023年5月31日に終了した期間）（単位：米ドル）

費用	
当座借越支払利息	3,656
有価証券貸付にかかる手数料	18,548
投資顧問報酬	6,923,944
保管費用	211,405
管理事務代行報酬	244,930
販売報酬およびサービシング報酬	536,974
名義書換事務代行報酬	81,865
年次税	271,822
監査報酬	5,266
管理会社報酬	245,047
取締役報酬	12,413
弁護士報酬	47,940
保険費用	14,049
印刷費用	33,887
出版費用	4,682
税務報告報酬	14,240
支払代理人報酬	9,711
規制報告報酬	32,852
その他費用	82,024
費用合計	8,795,255
	8,795,255

（注）費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

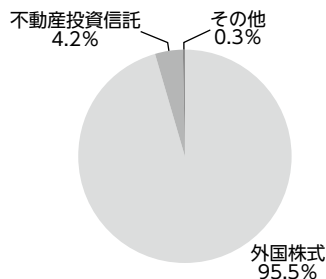
	銘柄	国	比率
1	Apple, Inc.	米国	4.1%
2	Microsoft Corp.	米国	3.2%
3	NVIDIA Corp.	米国	2.1%
4	Amazon.com, Inc.	米国	2.1%
5	ASML Holding NV	オランダ	1.8%
6	Alphabet, Inc. Class C	米国	1.8%

（組入銘柄数：331銘柄）

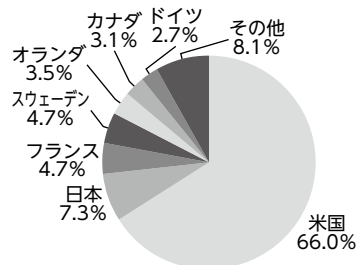
	銘柄	国	比率
7	Berkshire Hathaway, Inc. Class B	米国	1.6%
8	Palo Alto Networks, Inc.	米国	1.3%
9	Costco Wholesale Corp.	米国	1.2%
10	Mondelez International, Inc. Class A	米国	1.2%

（注）組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

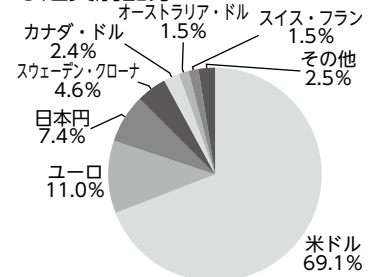
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、国・地域別による配分です。

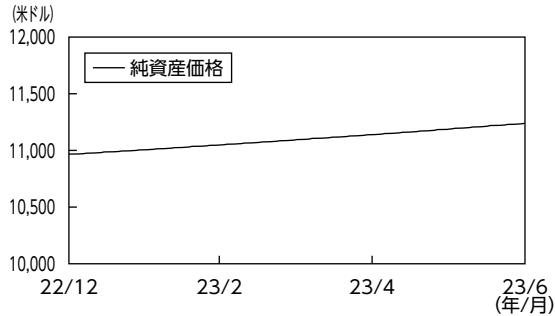
（注3）キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>（2023年6月30日現在）

* 2024年3月11日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について（2023年1月1日～2023年6月30日）



* X アキュムレーション・クラスの純資産価格

○費用明細（2023年6月30日に終了した期間）（単位：米ドル）

費用	
投資顧問報酬	42,361,347
管理会社報酬	2,176,932
管理事務代行報酬	698,330
保管費用	908,770
販売報酬	1,654,750
名義書換事務代行報酬	280,520
監査報酬	8,151
取締役報酬	6,047
弁護士報酬	20,925
保険費用	82,131
印刷費用	16,472
その他費用	264,444
費用合計	48,478,819
投資顧問報酬調整額	(4,384,235)
運用費用合計	44,094,584

（注）費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

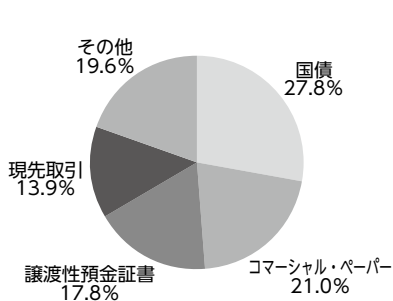
	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	5.2%
2	United States Treasury Floating Rate Note	国債	3.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.1%
4	United States Treasury Bill	国債	3.0%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	1.9%

（組入銘柄数：174銘柄）

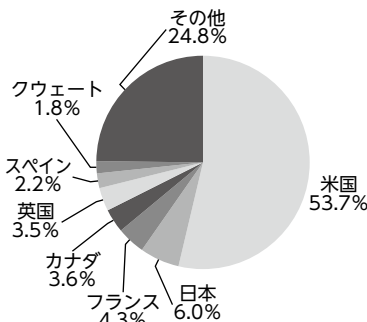
	銘柄	種別	比率
7	National Bank of Kuwait	譲渡性預金証書	1.8%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	United States Treasury Bill	国債	1.7%
10	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%

（注）組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

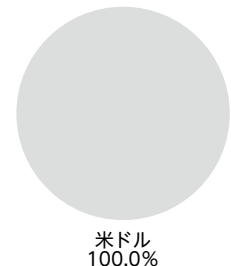
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、国・地域別による配分です。

（注3）キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。